



困りを感じて
自分に必要な機器として…

大分県立日田支援学校
教諭 高野 嘉裕

今年度の対象生徒



高等部 2 年生 男子

- ・ 脳性まひ
- ・ 知的障がい
- ・ てんかん

- ・ 移動には車いすを使用
- ・ 日常生活のほとんどにおいて、支援を要する。

今年度の対象生徒



- ・言葉や会話の理解力は高く「Yes,No」の意思表示はできる。

今年度の対象生徒

その他の表出方法は数種類のジェスチャー
(ex,失敗、怒る、家族の名前、ドキドキするなど)



こっちにきて

今年度の対象生徒



じーちゃん

〇〇ちゃん

- ・ 表出に困難さがあり、特定の人の名前はなんとか言えるが、あとは喃語である。

主観的な実態把握

会話

他の人の話

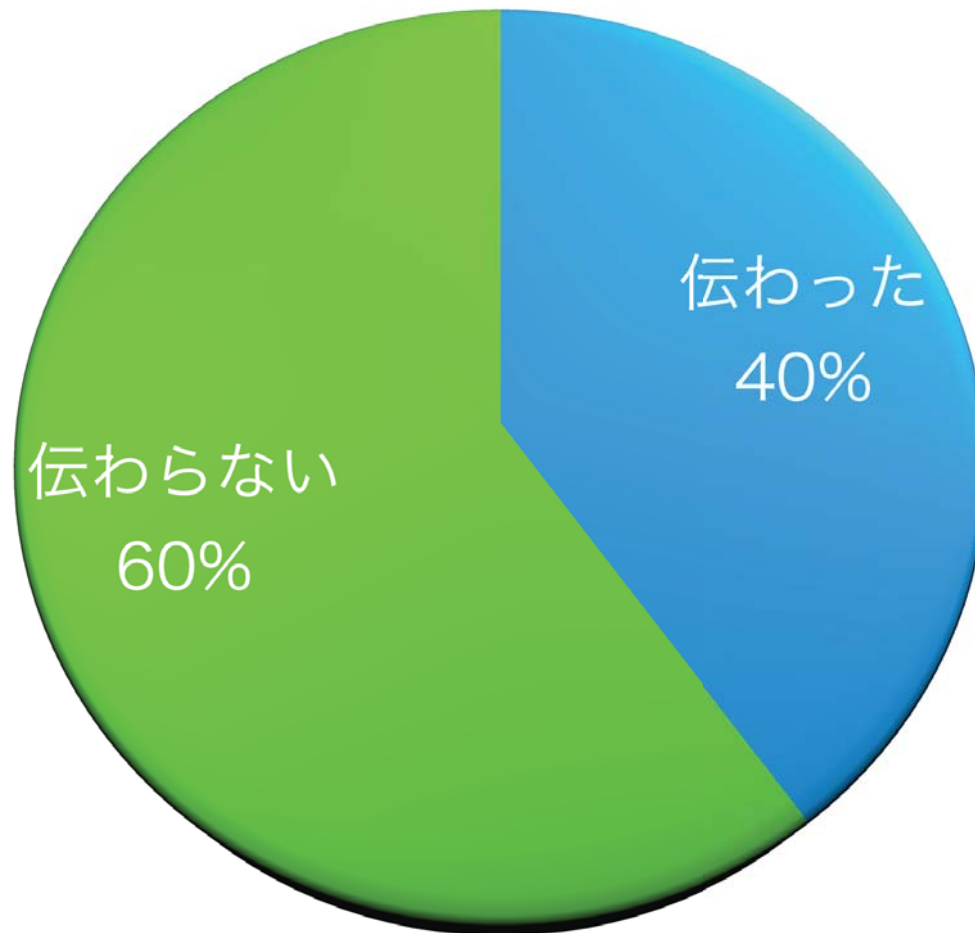
授業

言いたいこと
伝えたいこと

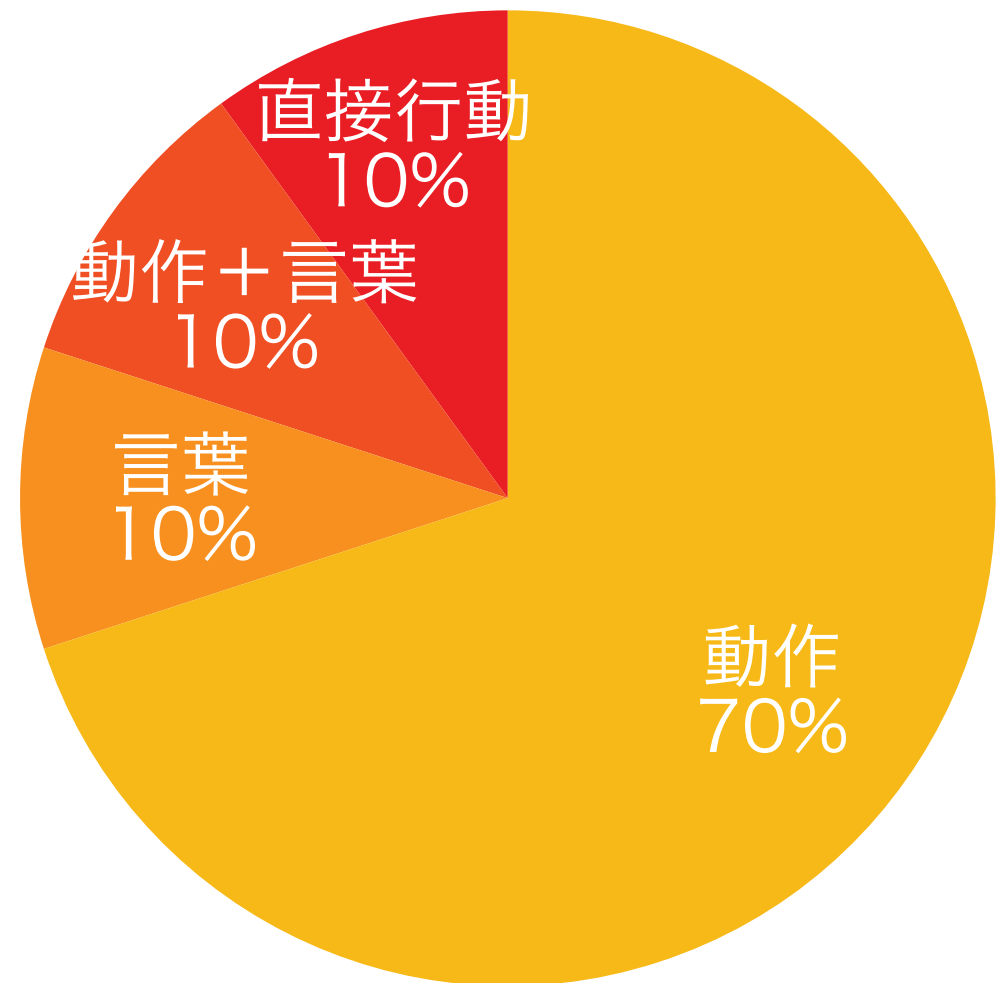
...

コミュニケーションの記録より

生徒からのアクションについて

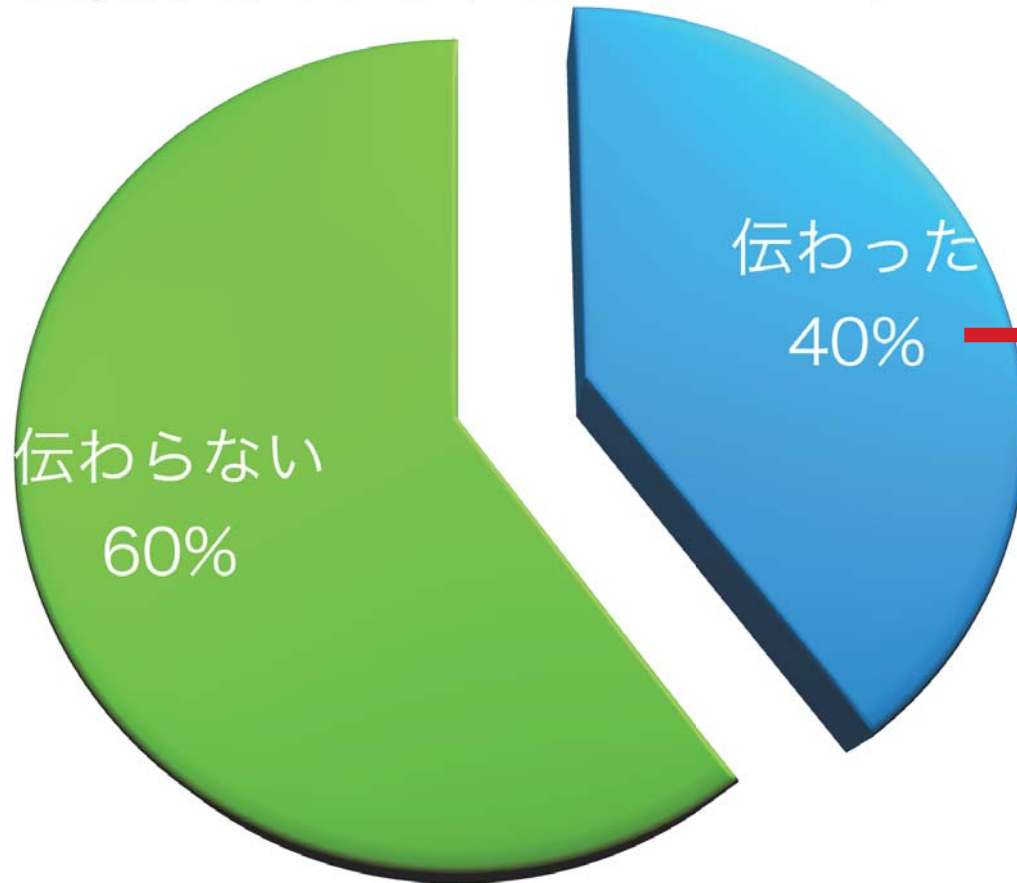


生徒の発する方法

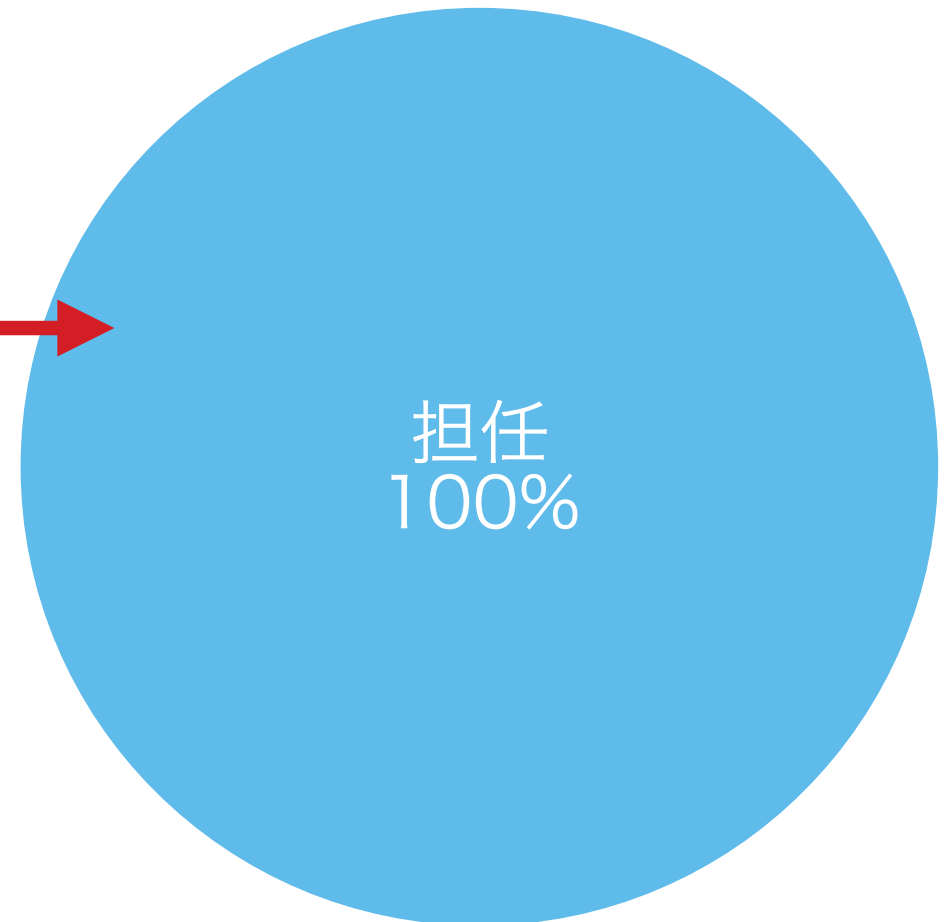


コミュニケーションの記録より

生徒からのアクションについて

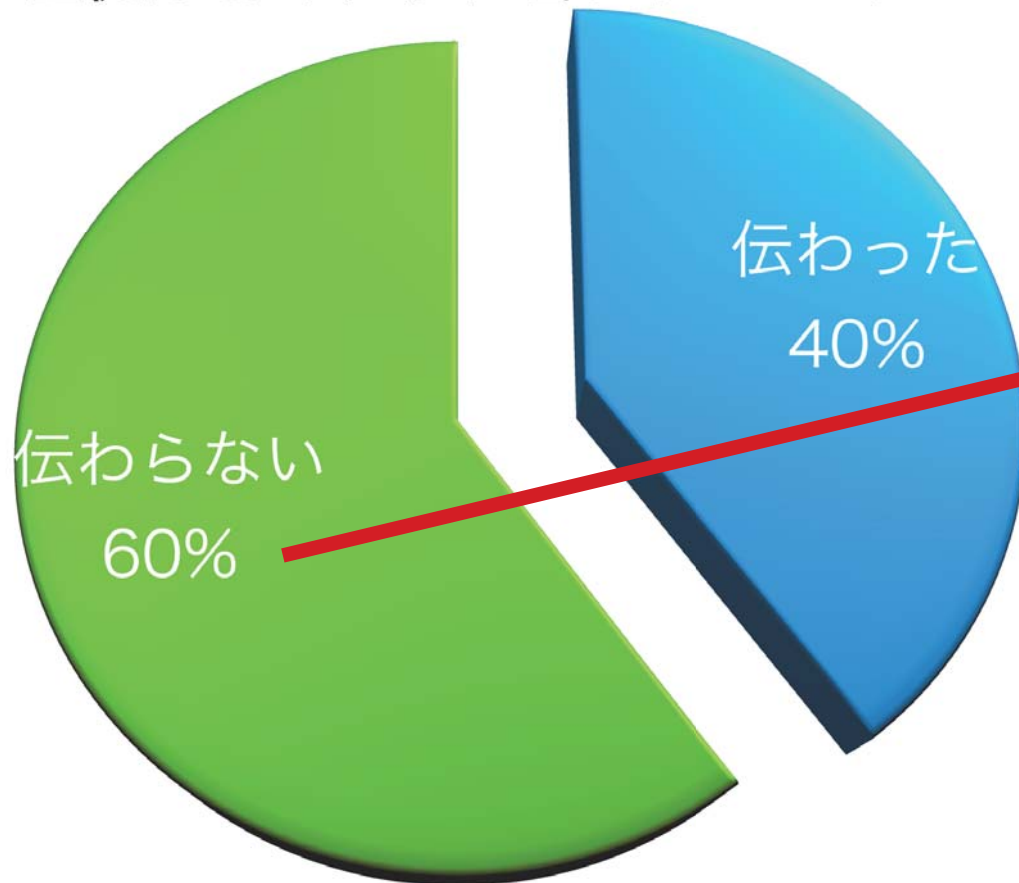


伝わった場面での受け手

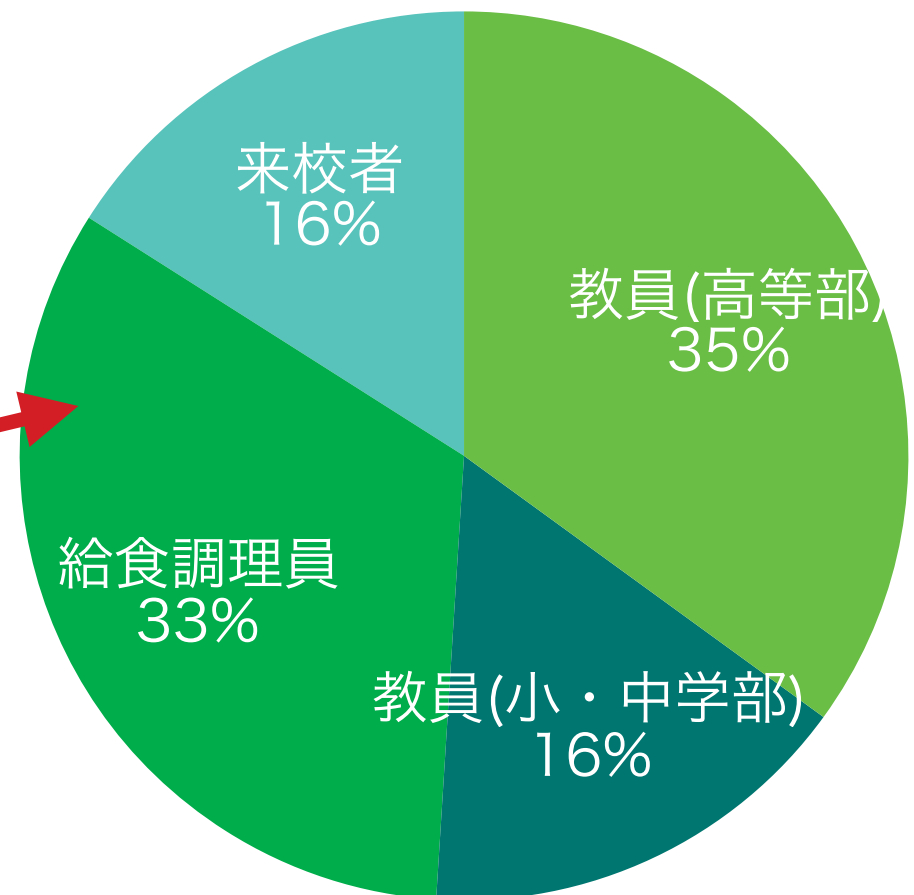


コミュニケーションの記録より

生徒からのアクションについて



伝わらなかった場面の受け手

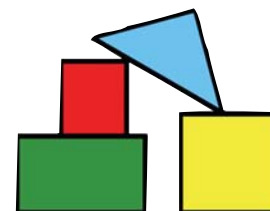


今年度の学習目標として

- ・コミュニケーション手段の拡充

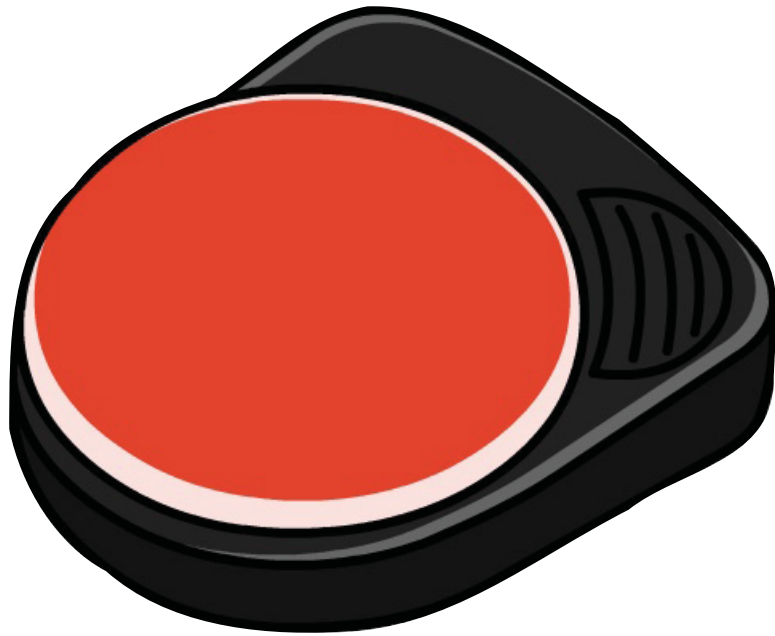


- ・マッチングやシンボル・文字理解、弁別などの力を高める



まず実践したこと

ビッグマックを使って歓迎の言葉



自分で行う

押しやすい

押す＝発語の理解

ビッグマックを使って歓迎の言葉



ゴールデンウィークの話



ゴールデンウィークの話



ごーるでんういーくのはなし ▾



みんなでおじいちゃんの家に行った



長崎ちゃんぽんを食べた



髪を切った

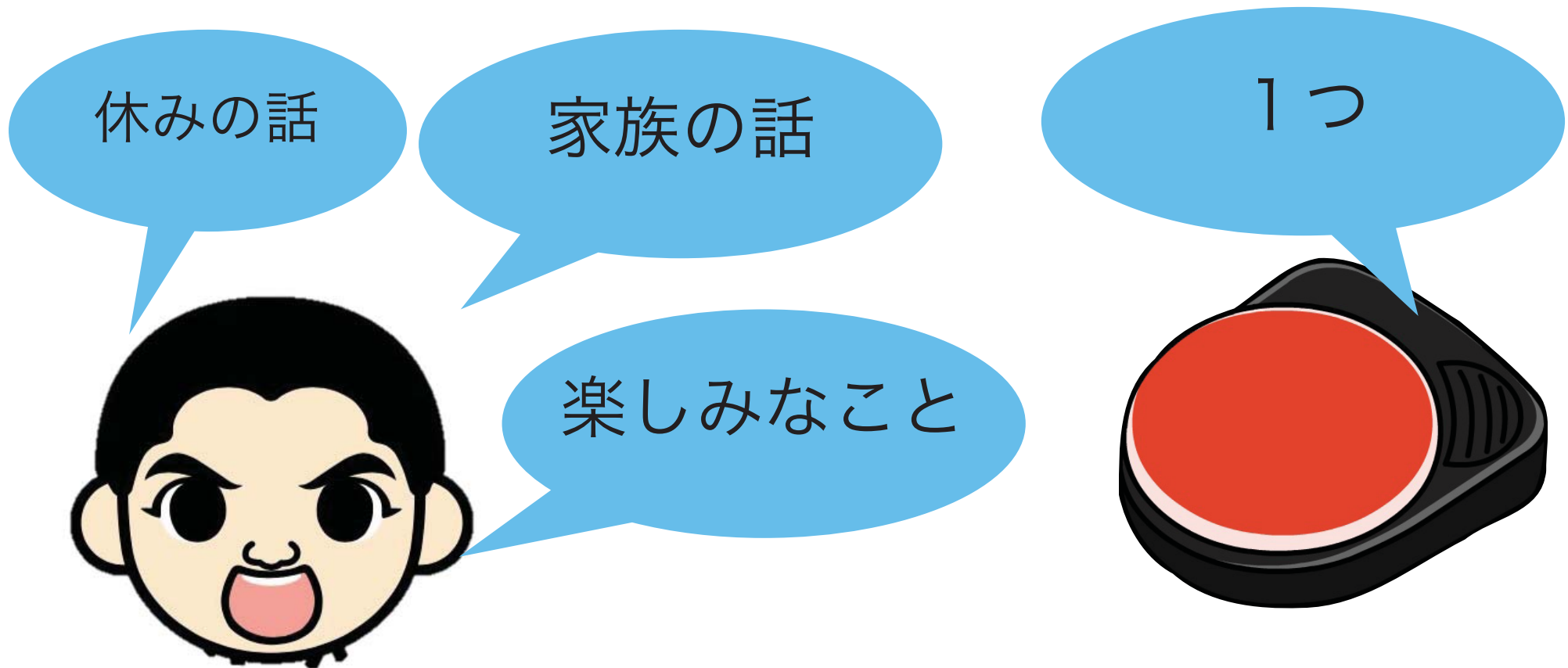


テツandトモが来ていた

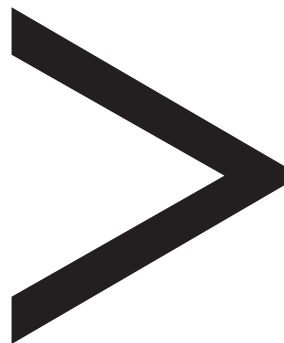


問い合わせやインターネットを見ながら探ると

本人の言葉とVOCAの機能のずれ



たくさんの
伝えたいこと



入出力は
1メッセージ
録音も難しい

iPadの使用をスタート

意思を表出できるように

iPadを購入してもいい

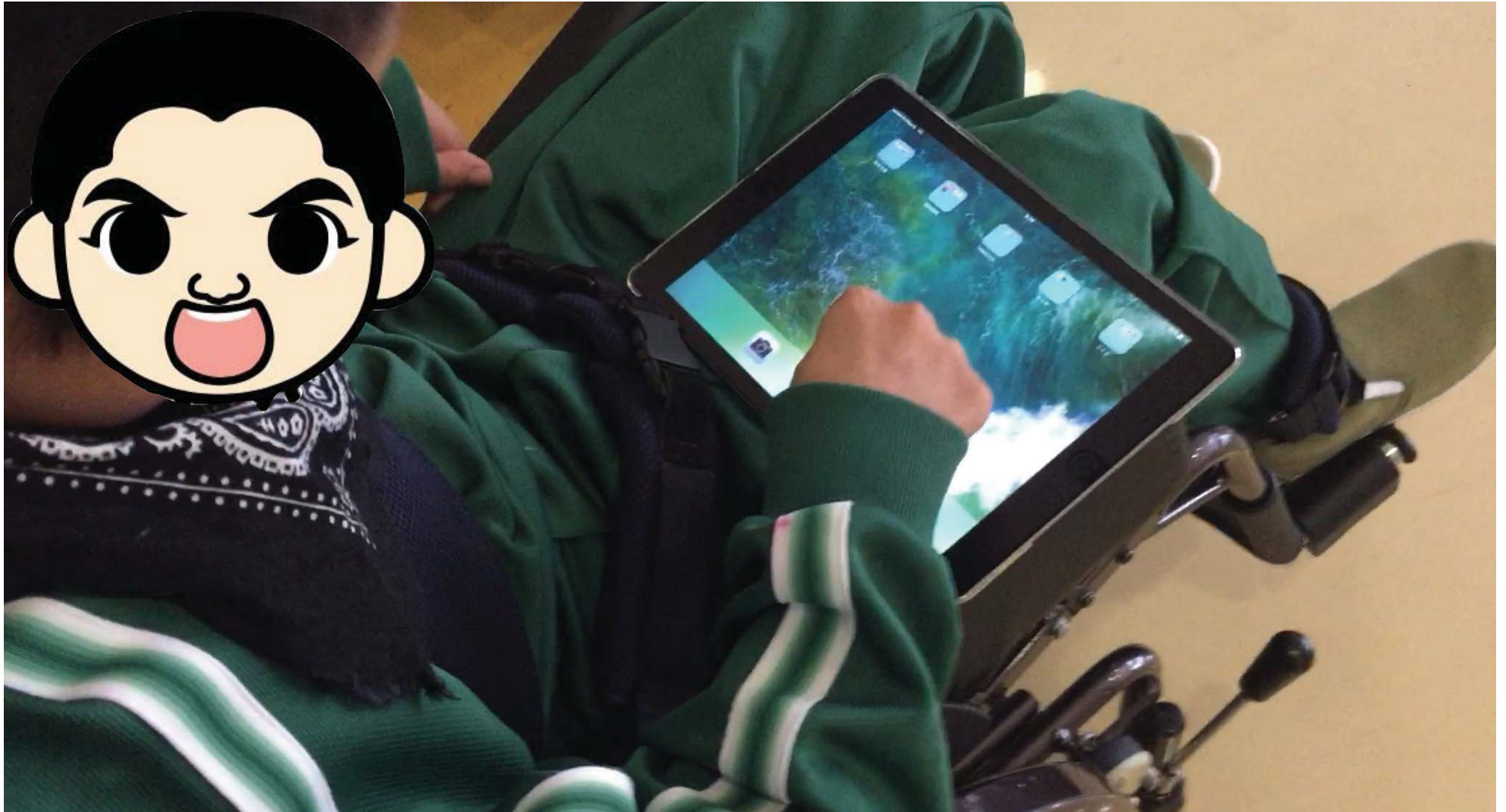
将来的な使用も含めて
取り組みを始めることが
できる



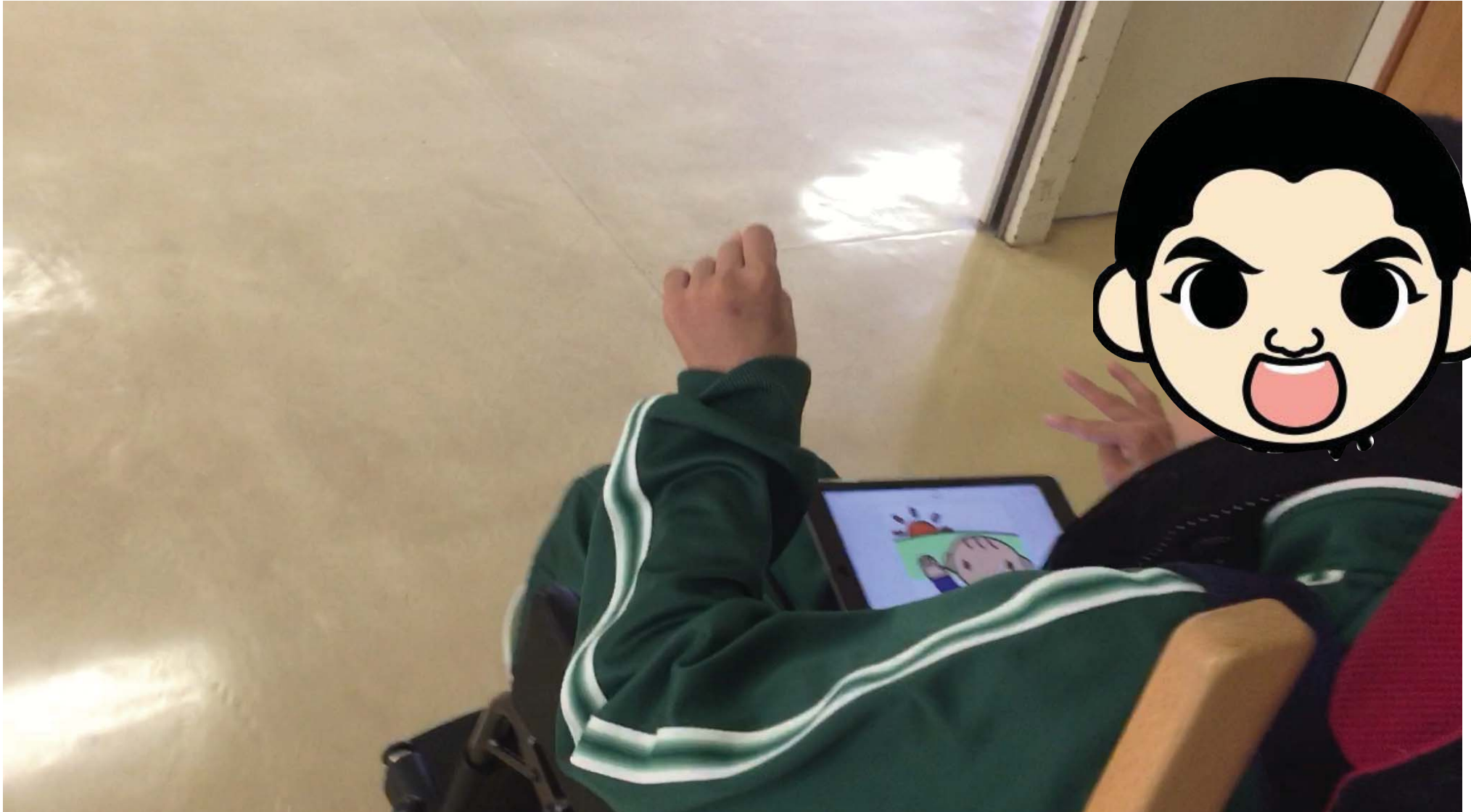
実践したこと あいさつ



実践したこと あいさつの準備



実践したこと あいさつ



最初取り組みから

成果

- ・ビッグマックからスムーズに移行できた。
- ・あいさつ(伝える)の意欲が見られた。
- ・自分で操作して、言葉を選べるようになった(繰り返しのもの)

反省点

- ・ 結局、担任が声をかけている…
- ・ **結局**、担任が操作している…
- ・ **結局**、担任がタイミングを決めている…

最初取り組みから

反省点

- ・ 結局、担任が声をかけている…
- ・ **結局**、担任が操作している…
- ・ **結局**、担任がタイミングを決めている…



音声がiPadになっただけ

iPadがなくても
自分で話せる

これまでの状態に
困っていない

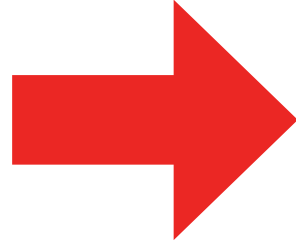


最初取り組みから

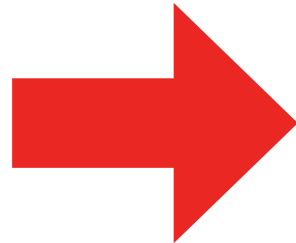
反省点

- ・ 結局、担任が声をかけている
- ・ **結局**、担任が操作している…
- ・ **結局**、担任がタイミングを決めている…

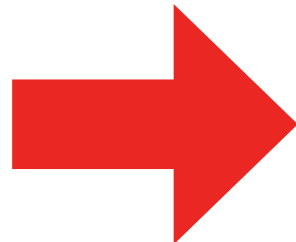
↓
音声はiPadになった
だけ



静観する



本人が操作しやすい
設定と説明のみ



端末を固定できる
アームで常に手元に



本人が操作しやすい 設定と説明のみ



端末を固定できる
アームで常に手元に



登校から下校まで常に手元に

最初取り組みから

反省点

・結局、担任が
声をかけている…

・結局、担任が
操作している…

・結局、担任が
タイミングを決
めている…

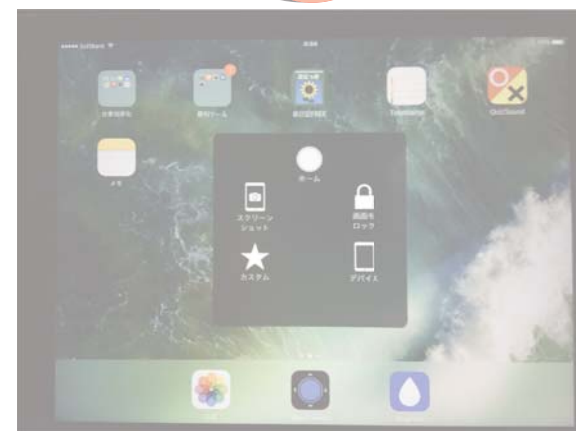
↓
音声 iPad になっ
ただけ

静観する

本人が操作しやすい
設定と説明のみ

端末を固定できる
アームで常に手元に

第2ステージへ



第2ステージ

タブレットの機能とDropTalkの進化で
パッとやる！



タブレットの機能

見えにくい部分をパッと見よう



タブレットの機能

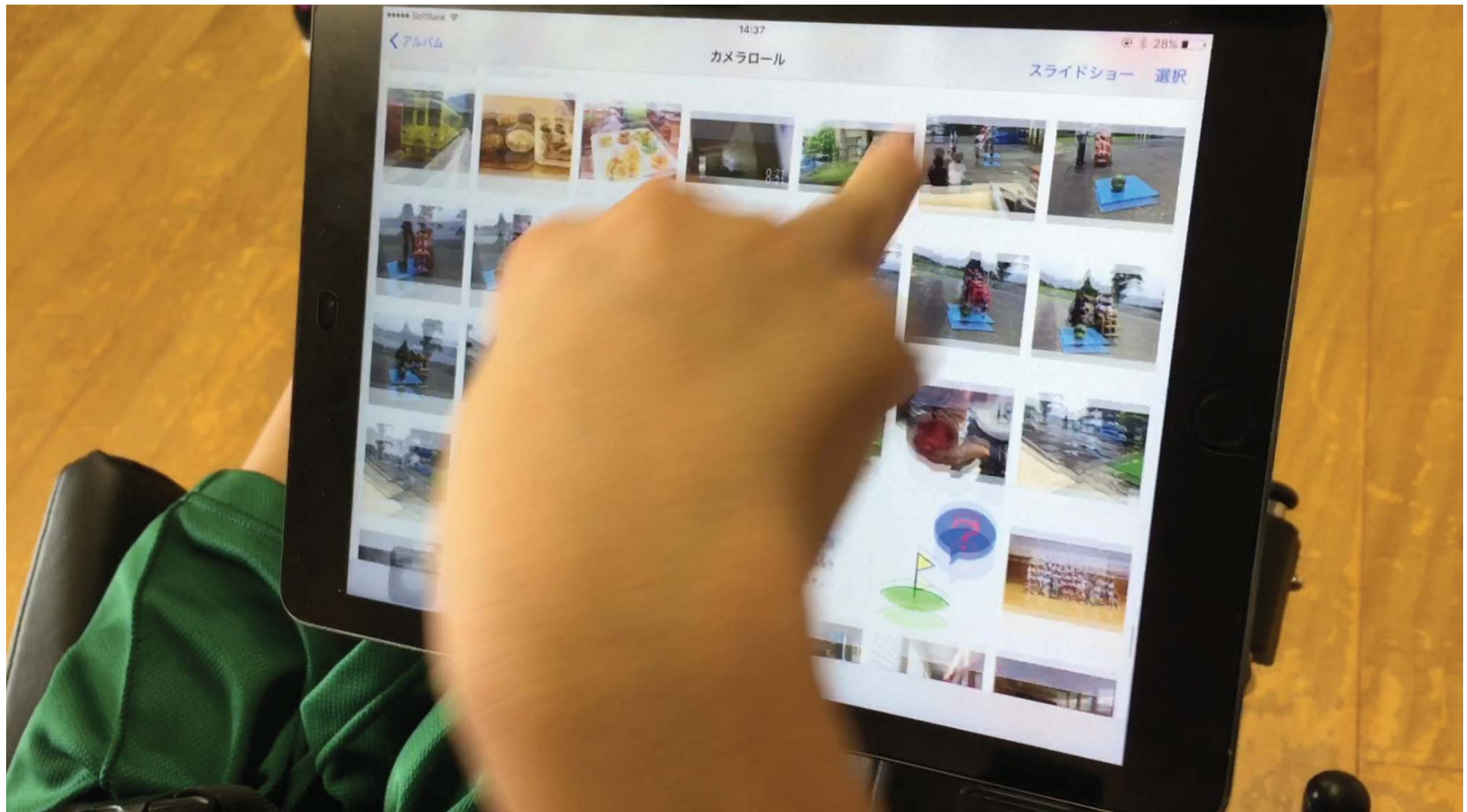


大好きな写真撮影をパッとやろう Slide Camera



タブレットの機能

大好きな写真撮影をパッとやろう



DropTalkで



なぜDropTalkなのか？

キャンバスの数を豊富に選択できる
実態に合わせて

写真・シンボル・手描きがキャンバスになる
すぐに言葉になる

新しいリンク機能が便利
選択ができたり、答えを限定したり

Cloud機能やAirdropでキャンバスの共有
学校↔本人↔家庭の共有

その前に…こんなことが…

自分で話す

話がある

う～、う～

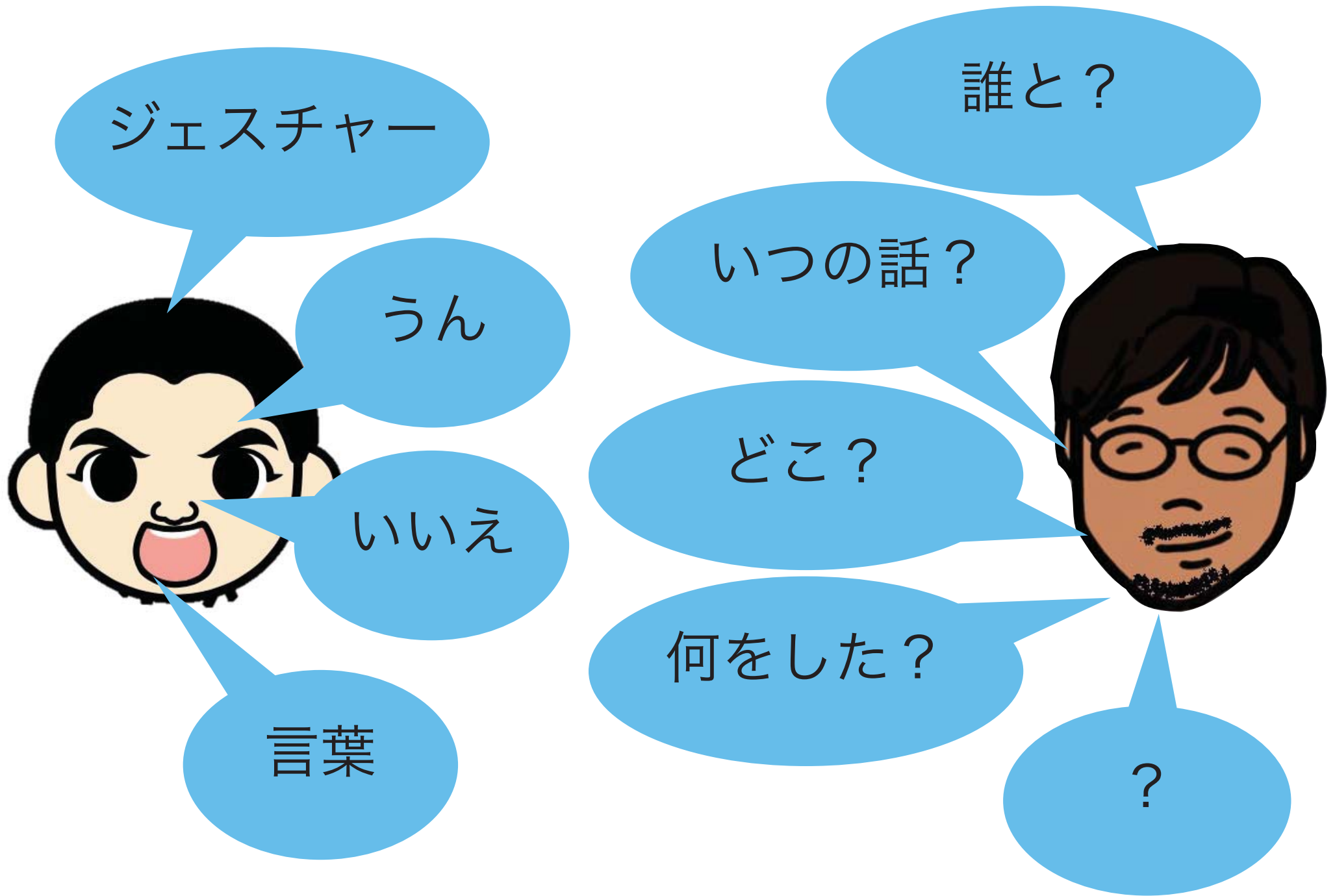
出て来る言葉は…

自分は言葉を発していると思っている？

だとすると…

本人は困りを感じないはず。

過剰な優しさ…



わからないことをつたえる

困り



どうしよう...

わからないよ



DropTalkで



事前に決まっている内容
司会など



発声のために押すと音声が出て、
自動的に次のキャンバスへ

DropTalkで



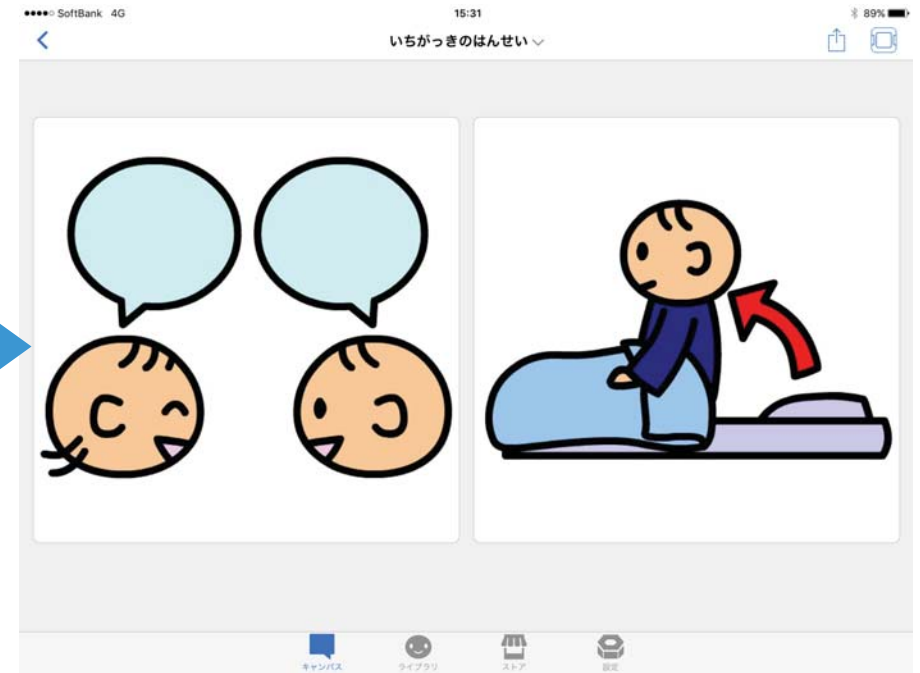
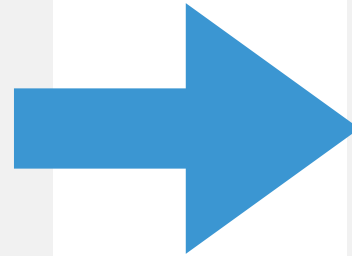
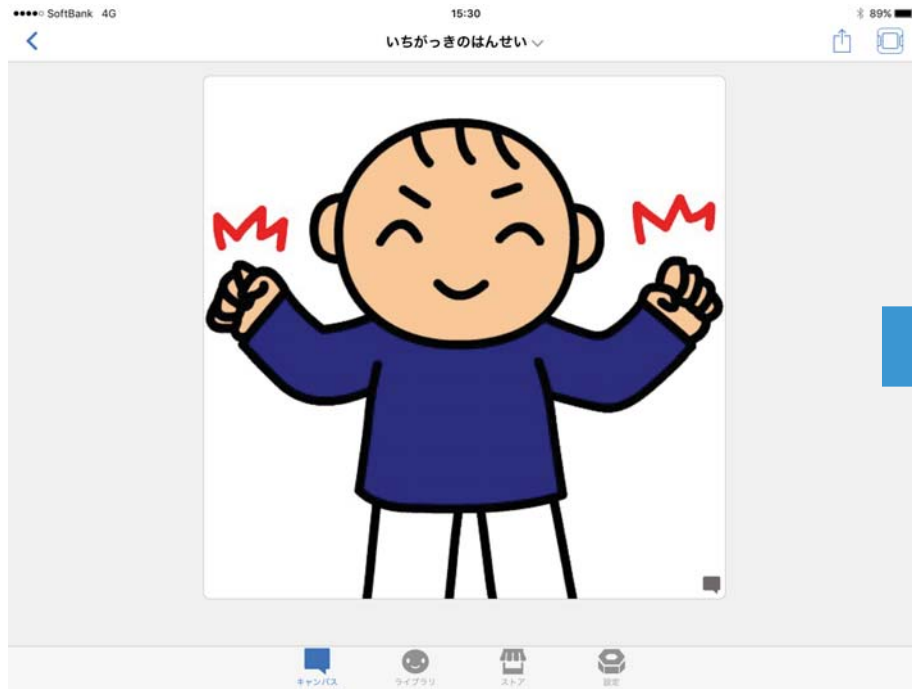
事前に決まっている内容



DropTalkで



事前に考えた内容+一定の範囲内の選択肢
発表の場面で

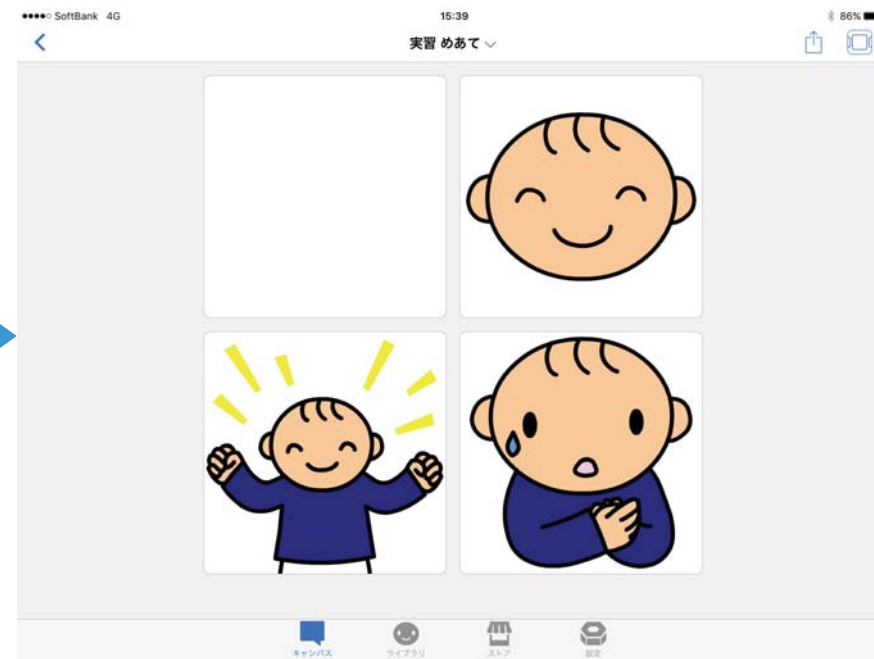
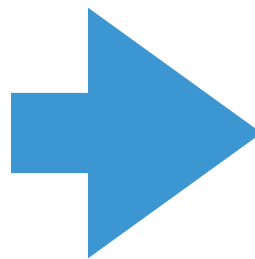


流れの中に、本人が選択
するキャンバスを

DropTalkで

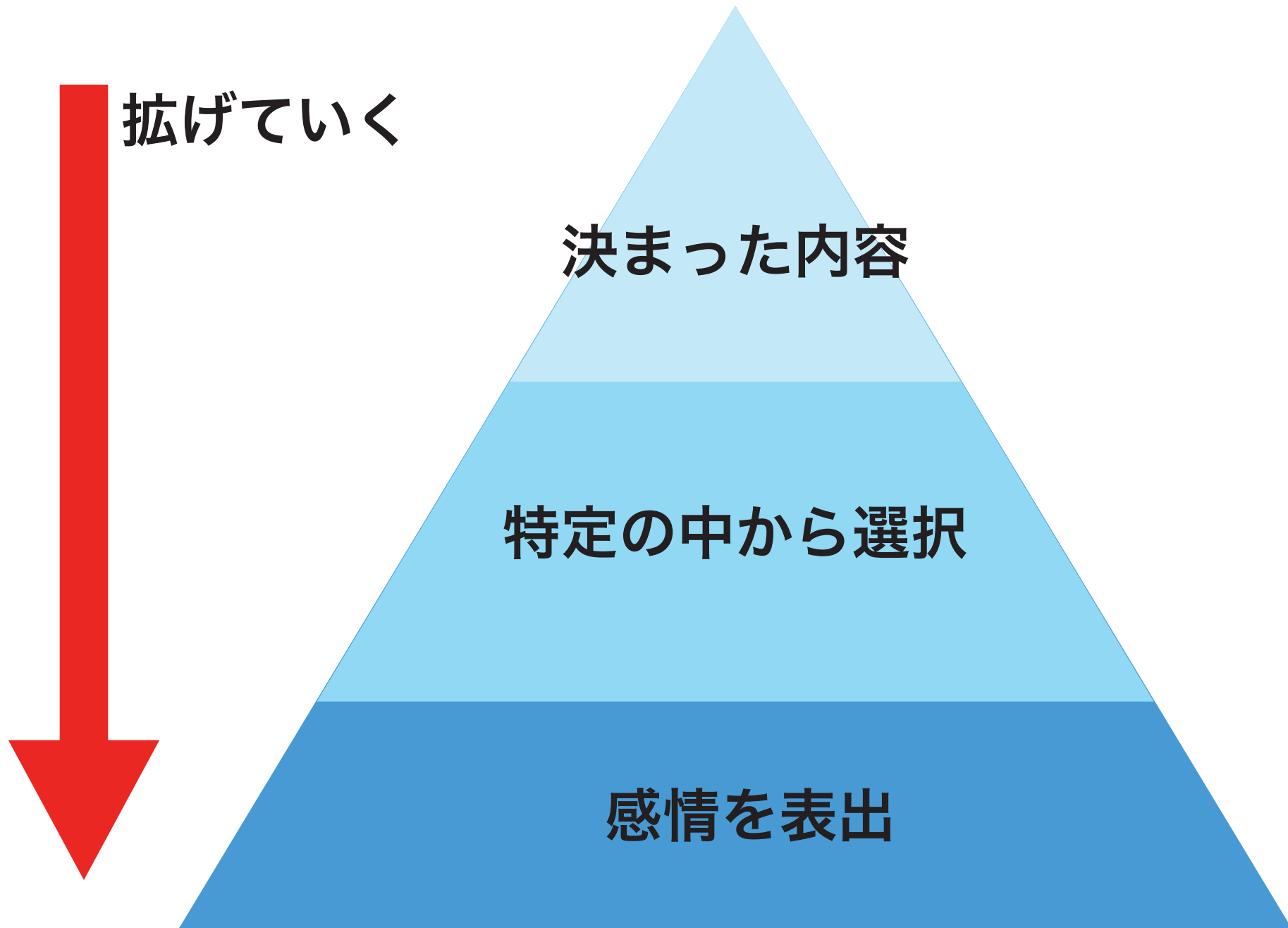


事前に考えた内容+気持ちの表現
発表の場面で



自分が感じた気持ちを
自分で選択して表現

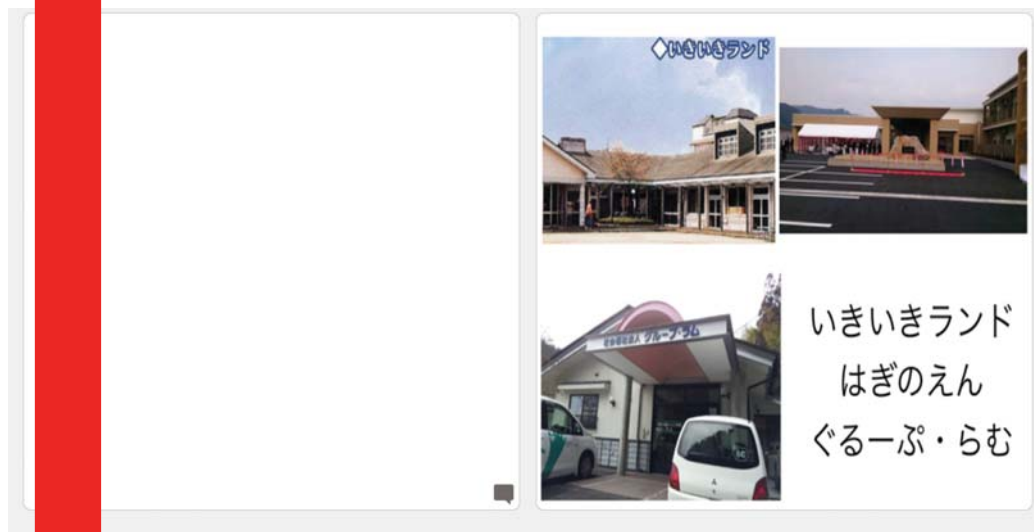
表出できる内容の拡充



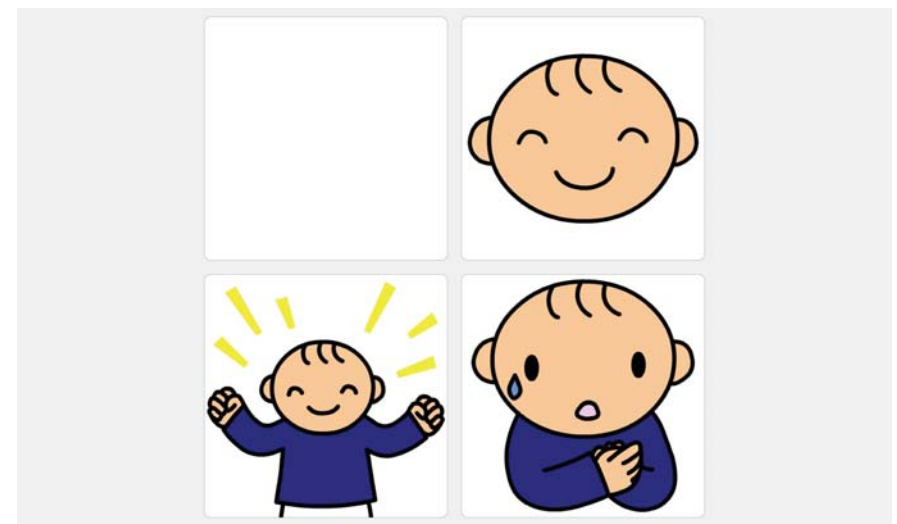
表出をしたという充実感



どちらも使いながら



半分iPadに頼って



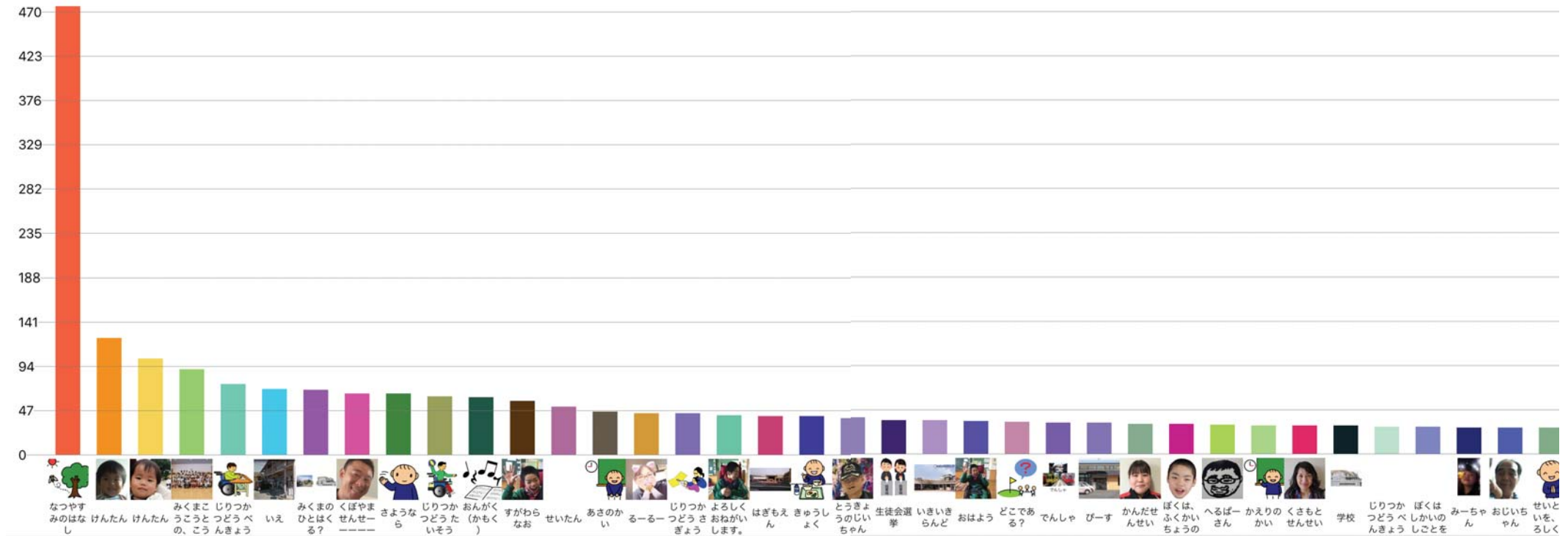
自分で操作をして

1学期の反省発表

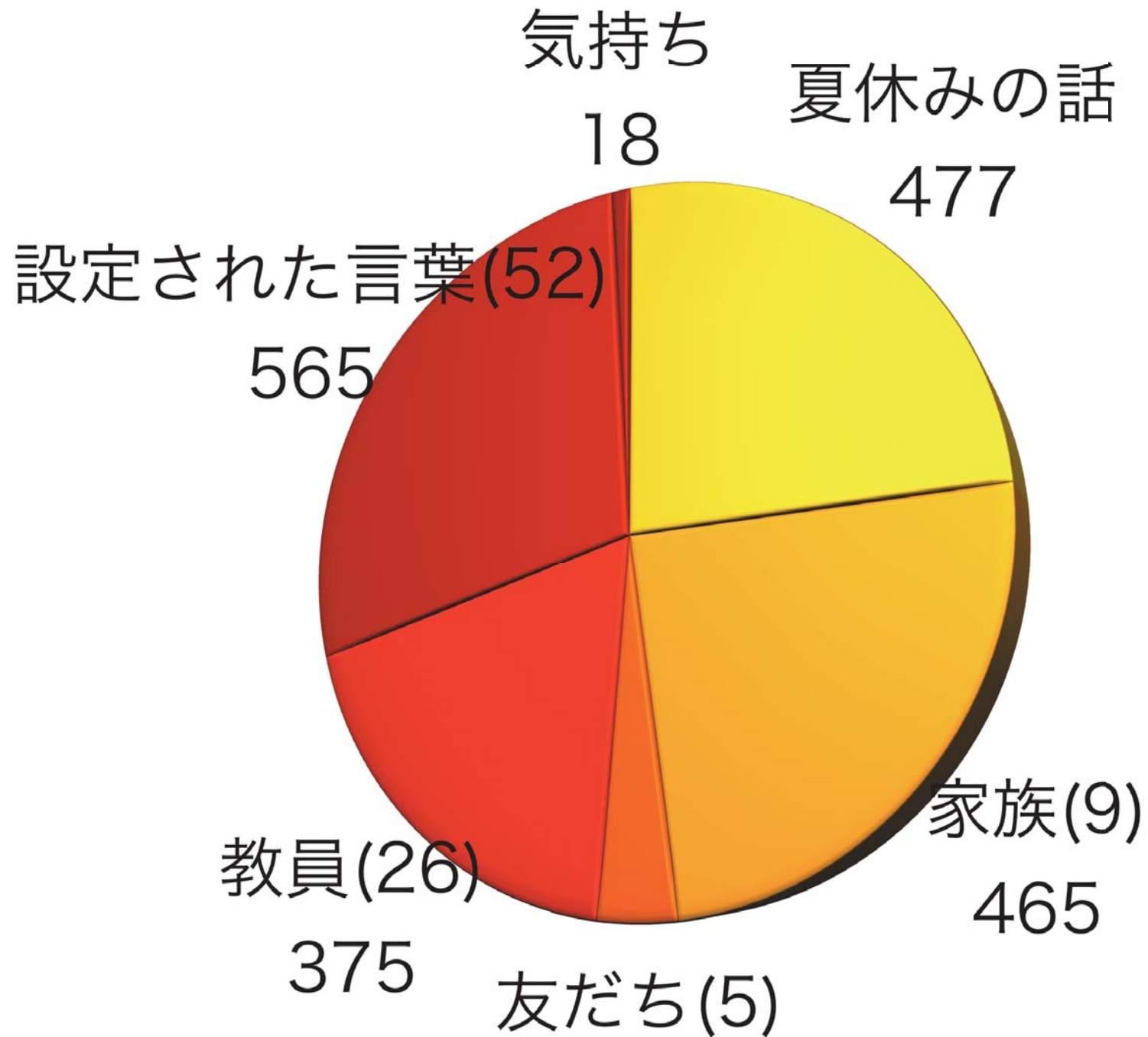


6月22日～7月20日の記録から

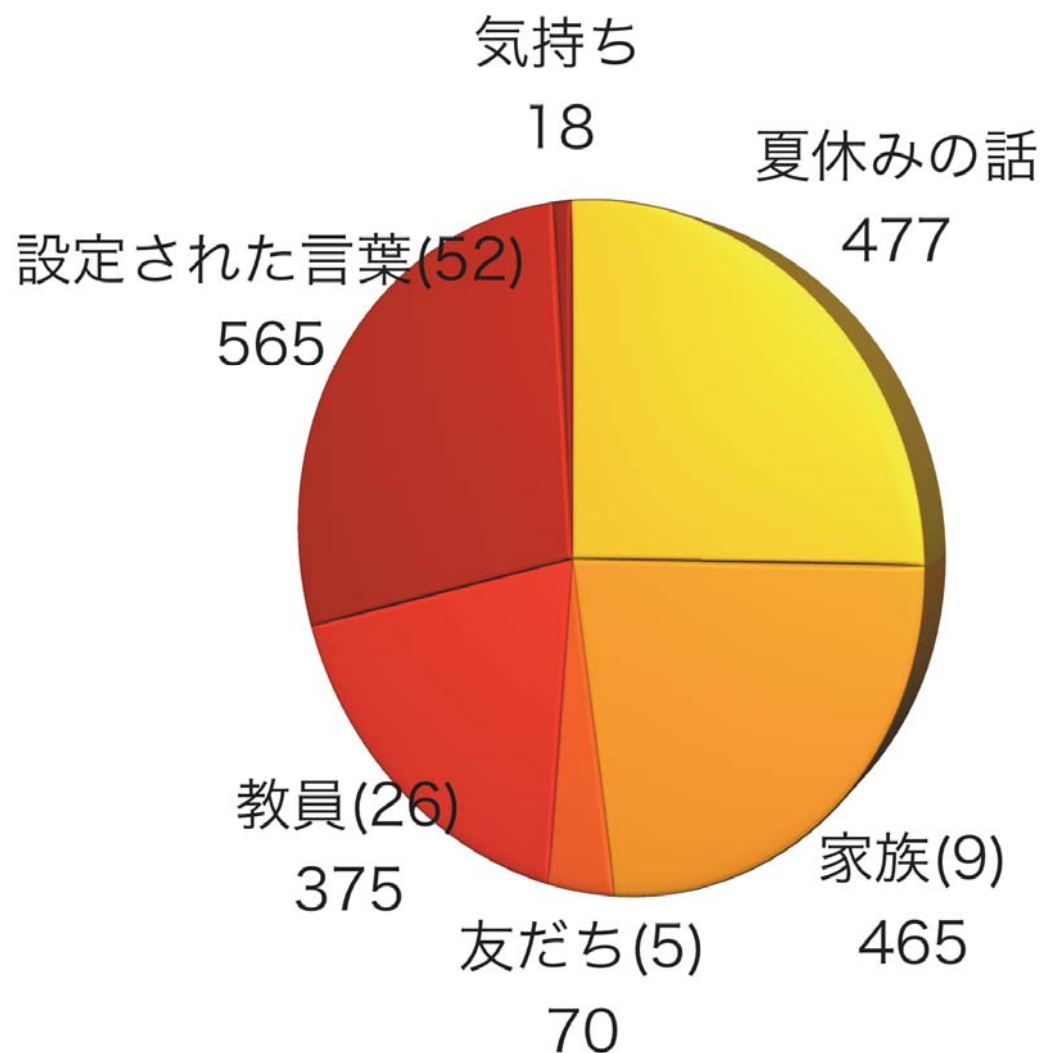
ログからトータル3441回の発声 202回/日



トータル発語回数3441回



トータル発語回数3441回



各言葉の平均発声回数

夏休みの話	477
家族	50/人
友だち	14/人
教員	14/人
設定された言葉	10/言葉

DropTalkで



彼の伝えたい言葉を…

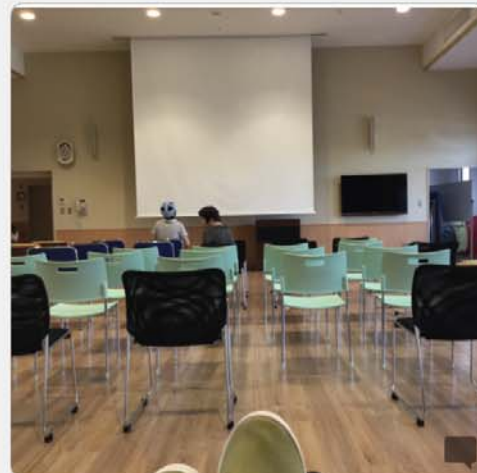
●●●● SoftBank 4G

18:57

81%



はぎのえんのこと ▾



まとめ



言葉は彼のもの
彼の言葉を大切に

手段を拡充するために

見え方の把握を
それから…